

新潟県療育研究会 第3回学術集会（2次案内）

- 1 主 題 医療と教育を同時に必要とするこどもたちへの支援を目指して
- 2 主 催 新潟県療育研究会
- 3 後 援 独立行政法人国立病院機構新潟病院
新潟県教育委員会（申請中）
柏崎市教育委員会（申請中）
- 4 日 時 令和元年9月14日（土） 午前9時20分から午後4時30分まで
- 5 会 場 独立行政法人国立病院機構新潟病院・附属看護学校
〒945-8585 新潟県柏崎市赤坂町3-52
TEL (0257) 22-2126 FAX (0257) 24-9812

6 日程及び内容 ※変更になる場合があります。

9:00	受付 *受付が済んだ方から <展示・体験> ロボットスーツ HAL、スノーズレン室等	
9:20	開会	
9:25	1 報告 医療的ケア、教育保障 *座長 新潟県立吉川高等特別支援学校 校長 内山 徹 (1) 新潟県の動向 新潟県教育庁義務教育課特別支援教育推進室 指導主事 中静 康弘 様 (2) 新潟県立柏崎特別支援学校の取組 9:55 新潟県立柏崎特別支援学校 校長 横尾 浩	
10:00	2 講演 (1) 基調講演 国立病院機構新潟病院 病院長 中島 孝 (2) 特別講演 国立障害者リハビリテーションセンター病院 病院長 西牧 謙吾 (3) 教育講演 新潟県立がんセンター 小児科部長 小川 淳 様 (4) ディスカッション ○中島 孝 ○西牧 謙吾 ○小川 淳 様 12:00 コーディネーター 上越教育大学 准教授 八島 猛 様	
12:05	3 ミニレクチャー ・ICTを使った豊かな活動づくり 12:25 新潟市障がい者 IT サポートセンター 特任講師 山口 俊光	
12:30	4 昼食交流会<協賛 株式会社ブルボン> ・参加者同士による情報交換 13:20 ・ICTの実演指導 13:00 前後から療育室にて	
	休憩・移動	
13:35	5 分科会	
	教育保障（医療的ケア児を含む） ～医療と教育の連携による教育保障の在り方～ ・生活の中心が病院から学校へ移行したケース ・病院が隣接しない医療的ケア児の教育保障 ・隣接病院からの学校看護師配置に向けた取組	◆事例紹介、座談会 【発表者】 新潟県立柏崎特別支援学校 教諭 脇園菜鶴美 様 新潟県立柏崎特別支援学校 教諭 岩脇 勉 新潟病院 副理学療法士長 桐山 剛 新潟病院 5階病棟師長 滝沢いつ子 【指導助言者】 新潟病院 小児科医長 木下 悟 【コーディネーター】 新潟県立吉川高等特別支援学校 校長 内山 徹

	小児がん (がん教育)、遺伝疾患等 育ちゆくあなたと共に ～小児がん・遺伝疾患等の こどもへのサポートやこれ からのがん教育に必要なこ とを考える～ ・新潟県の小児がん患児の 状況、取り巻く環境 ・群馬県の取組 ・CLSによる支援の実際 ・がん患者家族の声	◆シンポジウム、座談会 【指定発表者】 状況報告：新潟県立吉田特別支援学校 教頭 関川 俊洋 様 事例・取組紹介：群馬県立赤城特別支援学校 教諭 遠藤 晶子 様 長野県立こども病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト (CLS) 塩崎 暁子 様 家族の立場から：新潟県立柏崎特別支援学校 講師 多田 春菜 様 【指導助言者】 様 新潟県立がんセンター新潟病院 小児科部長 小川 淳 様 新潟病院 病院長 中島 孝 【コーディネーター】 新潟病院 副看護部長 宮澤 佳子 様
15:20	第3分科会 多職種連携、チーム療育 ～多職種間の連携の在り方 とこどもたちへの支援～ ・医療、教育、福祉、行政 の専門家が互いにつなが るとこどもたちはどう変 わる？	◆話題提供、座談会 【話題提供】 関病院 精神科医師 阿部 美紀 様 新潟県立柏崎特別支援学校 教諭 田村 純 様 新潟病院 主任児童指導員 畑田 遥磨 様 新潟病院 心療科医長 坂戸美和子 様 【コーディネーター】 新潟県立吉田特別支援学校 校長 根津 博人
	移動	
15:35 15:50	6 各分科会報告・情報共有	
15:55 16:15	7 まとめと助言、次年度に向けて 国立障害者リハビリテーションセンター病院 病院長 西牧 謙吾	
16:20	閉会	
17:00 19:00	懇親会 * 柏崎市にて 参加者に当日ご案内	

7 参加費等

- ・資料代 1,000 円
- ・弁当代 (お茶付き) 1,000 円 (希望者)

8 参加対象者

- ・医療・福祉保健関係者
医師、看護師、児童指導員、保育士、OT、PT、ST、臨床心理士、保健師、MSW 等
- ・教育・行政関係者
園・小・中・高等学校、特別支援学校 (学校看護師含む)、看護学校・大学 (学生含む)、
教育センター、福祉課、子育て支援センター、保健所、児童相談所等の所属職員

9 申込方法

- ・別紙「参加申込書」にご記入の上、8月19日(月)までにFAXまたはメールにてお申し込みください (定員140名程度 ※定員に達した場合は、締め切り前でも受付を終了させていただきます)。
- ・参加費、弁当代 (希望者) は、当日受付にてお支払い願います。
- ・案内、参加申込書は、新潟病院ホームページからダウンロードできます。
ここをクリックすると最新情報が得られます。



URL <https://niigata.hosp.go.jp/>

【新潟県療育研究会事務局】

国立病院機構新潟病院 〒945-8585

新潟県柏崎市赤坂町3-52

担当：事務部 管理課 庶務係長 笛田 一

TEL 0257(22)2126

Fax 0257(24)9812

E-mail: 225-syomu@mail.hosp.go.jp

国立病院機構新潟病院

事務部 管理課 庶務係長 笛田 一 宛

FAX 0257(24)9812 (送信票不要)

E-mail 225-syomu@mail.hosp.go.jp

新潟県療育研究会 第3回学術集会 参加申込書

<代表者所属名> _____

<代表者メールアドレス> _____

<代表者電話番号> _____

<参加者・分科会等について>

	1	2	3	4
参加者名				
職種・職名等				
午前参加 (○か×)				
分科会参加 (希望に○)	1分科会 () 2分科会 () 3分科会 ()	1分科会 () 2分科会 () 3分科会 ()	1分科会 () 2分科会 () 3分科会 ()	1分科会 () 2分科会 () 3分科会 ()
弁当注文 ※1 (○か×)				
懇親会 ※2 (○か×)				

※1 昼食について…… 参加者の皆さんで気軽に情報交換しながら昼食を食べることができます。

昼食後、新潟市障がい者ITサポートセンターによる、実際の機器を使った実演指導を療育室で行います。(参加自由)

※2 懇親会は大会当日の午後5時から7時まで、柏崎市内にて会費5,000円で開催します。

ご都合等により途中退席の方も大歓迎です。奮ってご参加ください。(会場は当日ご案内します。)

◆対応で困っていることや、今回の学術集会でお聞きになりたいことなどがございましたら、ご記入ください。

送付締め切り 令和元年8月19日(月)